

# 西要寺だより

第109号 令和5年5月6日

久しぶりに「西要寺だより」を発行します。その間、リーフレットを発行していたということもあり、しばらくぶりの発行となりました。以下、これまでの「西要寺だより」を発行していなかった間の、法要・法座のご報告などをさせていただきます。

## ・報恩講法要

昨年になりますが、10月21日22日の両日、報恩講法要をお勤めさせていただきました。ご講師は山口県下松市・勝賢寺住職、本願寺派布教使の森田義見先生でした。両日ともに、午後2時からお勤めをして、2時40分頃からご法話をさせていただき、3時半過ぎに終了しました。まだまだコロナの感染に気をつけないといけない時期でしたので、法要の時間を例年よりも30分ほど短くしました。両日ともに30人ほどの参詣者でした。森田先生は私（住職）の学生時代の先輩で、その頃よりお話が上手な方でした。巧みな話術でもってわかりやすくユーモアを交えながらのご法話でした。



そのなか印象に残ったのは、先生のご友人のお母さまが亡くなられた話でした。先生の友人のお父さまとお母さまは高齢になられたということで、お風呂の様子をお互いに確認しあっていたそうです。しかしながら、その日はたまたまお父さまがお酒を飲んでいて、しかも寝てしまったそうです。間が悪かったというしかないですが、その時にお母さまはお風呂場で亡くなられたということです。お父さまは相当に後悔されました。その日はたまたまお酒を飲んでいたので確認ができなかった、飲んでいなかったらこのようなことにはならなかったかもしれないと。



お風呂場で亡くなられたケースは聞きます。しかしながら、どのよう

な亡くなりかたであっても阿弥陀さまは問題にせず、救っていただけます。そのような阿弥陀さまを有り難いと思い、しっかりと仏事を行っていくことが大事でしょう。遺族の方のショックは大きいことでしょう。そのようなときは、遠慮せずに住職などお寺の者にお話ください。

このように法要や法座において、先生はいろいろな話をして下さいます。共感でいること、また新たに気づくということもあるでしょう。そのような共感や気づきを通して、今まで心にひっかかっていたことがすっきりすることもあるでしょう。同じような悲しみ、あるいはそれ以上の悲しみを背負いながらも、それでも前向きに歩んでいる方もおられることに気づき、頑張っていこう、という気になることもあるでしょう。

### ・定例法座（2月）

2月の定例法座では、講師の先生が次のような仏光寺の標語を紹介して下さいました。仏光寺とは京都にある浄土真宗の本山です。京都には東西本願寺以外に仏光寺派という宗派があります。仏光寺では門前の掲示板に毎月標語を出されます。以前、このような標語がありました。

「ひと月待てた 手紙の返事          メールになって 一週間

LINEになって 一時間?          待てなくなってる せわしないね」  
皆さまの中でもLINE（ライン）をされている方は多いことでしょう。息子さんや娘さん、孫さん、お友だちなどとの通信手段として使われていますが、数時間返信が無かったりしたら、どうしたのかな、と相手のことを気にします。お手紙を書いている方もいらっしゃると思いますが、手紙の返信だと、1ヶ月ぐらいは待てたでしょう。メールでは1週間は待てるかな。LINEだと1時間ぐらしか待てない、待てなくなっている、せわしないね、と現代の人々の心境を表しています。

昔よりも今ではストレスが多い時代になっています。昔よりも便利な時代になっていますが、その分、ストレスが多い。そのような時代ではありますが、お寺に來られてホッとしていただくのも良いかと思えます。たとえば、電気製品の電源をずっとオンにしていたら、その製品が熱をもって壊れやすくなります。たまには電源をオフにして休めてあげる必要があります。それは人間でも同じです。たまにはお寺に來られてホッとしませんか。



かつて学生が「今まで生きていたなかで仏教や宗教を知らなくても問

題なかったんです」ということを言っていました。そうですね、若い頃はいいかもしれませんが、年を重ねていくと、両親など親しい人たちの死を経験したり、自分自身が病気にかかり、死ぬのではないかという思いにかられたり、無性に孤独を感じるようなことがあったりと、さまざまな辛い事を経験することでしょう。どのような方でも思う通りに順調に人生を歩むことは出来ないでしょう。そこで、仏教の教えに触れておく必要があるということです。

### ・定例法座（3月）

3月の講師の先生には、悪人正機のお話をさせていただきました・・（詳細は紙面の都合で、次号に）



### ・法要の手引き（定例法座篇）

今年の永代経法要のご案内の裏面に「法要の手引き」を作成しました。法要のご案内をもらうのだけれど、実際にお参りにいくとなると、準備などはどのようにしたらいいのかと思われることでしょう。実際に質問をされた方もおられたのでまとめました。今回は定例法座についてです。

#### ①定例法座参拝の準備（自宅にて）

服装：喪服でなくてもOK（華美な服装でなければ）。

懇志：お布施も受け付けますが、特に一道会（※）に入っておられる方はお賽銭で。

持ち物：念珠、経本（お寺にもあります）、

〃：門徒式章（お持ちで無い方はお申し出ください）

#### ②法座に参拝（於、西要寺本堂）

午後2時からですから、遅れないように。

（ただし、遅れて来られても本堂に入ることは出来ますよ）

まずは、お勤め（『正信偈』）。引き続いて、ご法話です。

#### ③法要終了

法要終了予定は午後4時過ぎです。

定例法座は毎月22日です。気軽にお参りください。以上です。

ご不明なことは気軽にお問い合わせください。

（※）西要寺では門徒さんの有志の会「一道会」という組織があります。会員になっていただくことによって、いろいろなご案内ができます。お友だちも出来ることでしょう。ご入会をお勧めします。

## ●ご報告

私（住職）は、今まで、月曜日から金曜日には京都の浄土真宗本願寺派総合研究所に行き、研究員として宗派の仕事をしていましたが、3月末に研究所を退職しました。前住職が高齢になってきたこともあり（まだまだ元気ですが）、私（住職）は西要寺の仕事を専業とすることにしました。そのようなことになりましたので、特に午後、月参りや法事など法務がない場合は在寺しています。何なりとご相談があれば、お越し下さい。ただし、お寺に来られる場合はあらかじめ電話して下さい。

## ◎今後の西要寺行事予定◎

### 【永代経法要】

5月22日（月）23日（火）

両日とも午後2時より（終了予定：4時過ぎ）

講師：清岡 隆文師

（本願寺派布教使・龍谷大学元教授・吹田市 大光寺前住職）

場所：西要寺本堂

### 【定例法座】

6月22日（木） 午後2時より（終了予定：4時過ぎ）

講師：塚本 一真師

（京都女子大学講師 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員）

場所：西要寺本堂

ホームページ  
(saiyouji.com)



Instagram  
(saiyouji.a)



YouTube  
(ユーチューブ)



LINE  
(ライン)



浄土真宗本願寺派

# 西 要 寺

〒661-0024  
尼崎市三反田町1丁目7-27

電話 06-6429-8241  
FAX 06-6429-8239